

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	新産業クラスター事業(工業振興一般事業)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
						1	7	1	5	10	1	373
部等名	産業経済部	課等名	工業課		包含する細々目							
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	18	年度～	22	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯伊地域の製造業	機械系4業種の企業数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			220	230		
	航空宇宙プロジェクト参加企業数	航空機参入企業数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
			18	20		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	成長性の高い航空機産業に着目し、技術力の向上と企業間の協力体制を築くことで、地域の発展と安定成長をねらう。	航空機参入企業数	18目標	5	最終目標	
			18実績	12	19目標	15
		23目標	18	23実績		
		航空機部品出荷額(多摩川精機を除く)(億円)	18目標	0	最終目標	
18実績		1	19目標	3		
23目標		10	23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新産業(航空宇宙産業)に対する共同受注体制の確立に向けて、参入を目指す企業を中心にプロジェクトを開催する。</li> <li>航空機部品受注のために要求される課題解決に向け4つのワーキングチームの活動を支援する。</li> <li>ワーキングチーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>共同受注チーム</li> <li>QMSチーム</li> <li>ソフトチーム</li> <li>加工チーム</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新産業の講演(日本における航空機産業の動向と展望)</li> <li>ビジネスファにおける展示及びパネルディスカッションの開催</li> <li>工場見学会の開催</li> <li>各種セミナーの開催</li> <li>PMAビジネス説明会、JISQ9100説明会、同認証取得セミナー、難削材加工セミナー、航空機の全体システムの技術セミナー</li> <li>他地域主催のセミナー参加</li> <li>航空宇宙プロジェクトの立ち上げと活動支援</li> <li>ワーキングチーム結成と活動支援</li> </ul>	回数	1回 1回 3回 4回 4回 13回 8回
		<ul style="list-style-type: none"> <li>航空宇宙プロジェクトに対する活動支援</li> <li>ワーキングチーム結成と活動支援</li> <li>工場見学会の開催</li> <li>各種セミナーの開催</li> <li>JISQ9100の認証取得セミナー、特殊材料加工セミナーほか</li> <li>他地域主催のセミナー参加(広域連携)</li> <li>共同受注のための営業ツールの作成と活用</li> </ul>	回数	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	0	373
	事業費計(A)	0	373
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 150
	臨時職員等所要時間	300	300
	人件費計(B)	680	859
	トータルコストA+B	680	1,232

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	地域経済自立度(%)	現状値	45.4	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
	製造品等出荷額(億円)		現状値	3700	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	4070	

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>・地域の機械系4業種の現状は、全体として繁忙期ではあるが、この時期に次への展開に向けた動きが必要である。          ・三遠南信バイタライゼーション飯田支部の支部長である多摩川精機㈱秋本社長の呼びかけによりスタートした。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>・飯伊の中小企業は、現在受注が活発で、多忙であるが、その主な受注品の一つである半導体や液晶表示装置の投資は波が大きく、韓国の大型投資など競争も激しく、将来に不安がある。          ・全国的に航空機産業参入に向けた動きが活発化してきている。国内大手航空機メーカーもユニットで受けてもらえる企業を全国各地探している状況である。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>・継続した業績を続けるには、新たな展開が必要</p>
--	---	--

**【See】18年度の振り返り**

<p><b>目的妥当性評価</b></p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>約200兆円産業の航空機産業に参入できれば、継続的な受注に結びつき、外貨獲得が期待できる</p>	<p><b>有効性評価</b></p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>時期的に最大限のチャンスであり、重点的に取り組むことで、更なる成果が期待できる。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>地域内の参加していない企業が、危機感を感じて積極的に参加してもらえるようにPRすることで拡大する可能性はあるが、あくまで企業自らの参加が原則で、対象を見直す必要はない</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>新たな受注の可能性もなくなり、下請け企業からの脱皮ができない。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>事業の将来性と地域特性を考えたものであり、意図の見直しの必要性はない。</p>		<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 関連事業あり (類似事業名、理由)</p> <p>ビジネスネットワーク支援・受発注開拓事業の一つとして位置付けた方が企業にとって分かり易いので、国の産業クラスターへの支援が終わる平成22年以降には統合が可能である。</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>この事業を推進するためには、専門的な知識を持った人が必要であり、アドバイスやコーディネートに対して、導入部分では関与の必要がある。</p>		<p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)</p> <p>人件費のみであるが、最小限かつ効率性の高い状況である。</p>
				<p><b>公平性評価</b></p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>参加企業に負担を求めている。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>新産業創出におけるテーマはいろいろとあり、19年度は、農工商連携による新しい視点で地域の可能性を探って育事業を展開する。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>広域連携の活用により、浜松・東三河地域の農工商連携チームの企業と交流計画をしている。</p>
--	---

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	